

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)



自由民主党ホームページ URL <https://www.jimin.jp>

国のかじ取りが問われる局面が続く中、2025年10月21日に高市早苗内閣が発足しました。自由民主党は、物価高対策を軸とした経済政策と現役世代の負担軽減、政治改革に取り組んでいます。国政の安定と地方の声の両立が重要となる今、本号では新潟5区の各地で地域の声と向き合い活動している、前衆議院議員で自民党新潟県第5選挙区支部長の高鳥修一さんを特集します。



元農林水産副大臣

自由民主党総裁

高鳥修一

たかとり しゅういち

高市早苗

たかいち さなえ

「私がやります!!!」

責任ある積極財政で
暮らしを護り地方を元気に。

日本初の女性総理 高市早苗総理大臣 誕生

高鳥修一さんは、2021年の自民党総裁選から高市早苗総理の推薦人の一人として、その政策と姿勢を支持してきました。ひたむきに信念を曲げることなく、地方から声を上げ、仲間とともに取り組んできた4年。2025年10月21日の総理誕生は、そうした積み重ねが実を結んだ瞬間でした。国民のために働く政治の実現に向け、志を同じくする立場から歩みを重ねていきます。

物価高から、雪国の暮らしを護る

物価高が続く中、高市内閣はエネルギー価格の負担軽減を柱に、国民生活を下支える政策を進めています。雪国で車社会の新潟5区では、ガソリンや灯油の価格上昇が、通勤や買い物、暖房費など暮らしに直結する課題です。高鳥修一・前衆議院議員は、こうした地域の実情を踏まえ、燃料費対策の必要性を一貫して訴えてきました。一時的な給付にとどまらず、地方でこそ効果を実感できる恒常的な対策が重要だと考え、現場の声を伝え続けています。

政府決定の物価高対策まとめ (2025年12月)

- ✓ ガソリン税の旧暫定税率を廃止(25.1円/L)
- ✓ 軽油引取税も廃止へ(暫定税率17.1円/L)
- ✓ 減税実施までの間は補助金で価格上昇を抑制

高市総理からの
厚い信頼!

過去の
応援演説動画を
YouTubeにて
公開中!



たかとり修一事務所

上越事務所

〒943-0804 上越市新光町2-1-1
TEL 025-521-0760 FAX 025-521-0761

魚沼事務所

〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町459-3 サファイアビル1F
TEL 025-788-1747 FAX 025-788-1748

近年新潟5区での高鳥さんの実績

- 主な経歴
- 自民党新潟県支部連合会会長
 - 自民党筆頭副幹事長・
総裁特別補佐
 - 自民党政調会長代理
 - 農林水産副大臣
 - 内閣府副大臣
 - 衆議院農林水産委員長
 - 衆議院厚生労働委員長
 - 厚生労働大臣政務官
 - 自民党厚生労働部会長

令和5年の**渇水被害**に対する**農業対策**を政府に要望

津南町・十日町市 信濃川河川災害復旧事業に**60億円**採択

上沼道の**早期開通**に尽力
令和6年度予算**59億円**

魚沼市

令和3年に発生した地すべり被害に対し、**事業費7億6千万円**を確保

観光庁補助事業への採択に尽力し、**10億7千万円**を確保

湯沢町

スイカの選果場に**12億円**の予算獲得

南魚沼市

渇水に苦しむ**百合農家**に対し、**支援を拡充**

巻機山の**上信越国立公園**への包含に尽力

プロフィール

昭和35年9月29日生まれ
新潟県立高田高校卒業
早稲田大学法学部卒業
衆議院議員(当選5回)
家族/妻、長男、次男
趣味/ラーメン食べ歩き、
ギター弾き語り、
空手、スキー、篠笛

足を運び、声を聴く たかとりさんの近況

広い新潟5区を、すみずみまで。一人ひとりの言葉に、地域の課題と次のヒントがある。その思いで、日々、現場に足を運び続けています。



2025年8月、渇水対策について国に働きかけ、農林水産大臣の現地視察や支援につなげました。



2025年9月、豪雨災害の発生を受け、現地を訪れて被害状況を確認しました。



辻立ちを通じて寄せられる、皆さまのあたたかい言葉に励まされています。

教えて! **高鳥**さん

新潟5区の気になる疑問に答えます

- Q 食料品や日用品の値上がり、暮らしは本当に楽になりますか?

A 一時的な対策で終わらせません。税や物流の負担を見直し、物価が下がる流れをつくります。
- Q 子育てや教育にかかる負担、これから軽くなりますか?

A 子育てで世帯が安心して暮らせることが、地域の元気につながります。家計の負担を抑えながら、子育てや教育への支援を広げ、仕事と子育てを両立できる暮らしを後押しします。
- Q 新潟で米づくりや農業は、これからも続けていきますか?

A 米づくりは、新潟の暮らしと地域を支える大切な基盤です。スマート農業の導入を支え、米価の安定と生産者が続けられる環境を整えます。
- Q 豪雨や大雪など災害のとき、国の支援は本当に届くんですか?

A 災害時に支援が遅れないことが、何より大切です。上沼道や保倉川放水路など道路や河川整備を進め、災害に強く安心して住み続けられるふるさとを守ります。
- Q この地域の医療や福祉、この先も安心して頼めますか?

A 医療や介護を支える人がいなければ、安心は守れません。医療・介護・福祉で働く人の待遇を改善し、人材を確保しながら、地域の実情に合った医療体制づくりを進めます。